

今、確かな未来を創ろう！

プロフィール

●昭和30年10月18日、常陸太田市生まれ●県立太田一高～日大法学部卒●サラリーマン生活を経て、昭和63年会社を設立し、中小企業の経営にあたる●平成12年、衆議院議員初当選、現在4期●母・春江、妻・由可子と3女の6人家族

愛郷無限
—新時代—
Kajiyama Hiroshi

衆議院議員 **梶山ひろし**

●発行/茨城県常陸太田市山下町1189 自由民主党茨城県第四選挙区支部

今年、まさに勝負の年。国民生活のため、政権正常化！

皆様、おそろいで麗らかな初春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

昨年は大変、お世話になりました。日々、精力的に政治活動を行えました。これも皆様のおかげと心から御礼申し上げる次第です。

●国民の批判を受け、県議選でも民主党惨敗！

さて、去年は、私どもにとって大きな2つの選挙がありました。7月11日に実施された参議院選挙では、民主党は改選議席を下回る44議席に激減。自民党は51議席を獲得し改選第1党になりました。

そして、統一地方選プレ選挙として注目された政権交代後初の都道府県議会議員選挙・12月12日の茨城県議会議員選挙においては、民主党は大幅躍進を狙って24人の候補を擁立し、2桁の当選を目指したものの現状維持の6議席に留まる惨敗。自民党は、世代交代が進む中で、引き続き議会の第一会派として改選前の勢力をほぼ維持することが出来ました。

参議院選挙から続けて地道な活動をしてきたことが、結果につながったものと思います。

●思いつき政策の連発で出口が見えない！

思い返せば、自民党が下野した一昨年の衆議院選挙。マニフェスト選挙といわれる中、民主党は「暫定税率を廃止」「子ども手当」「農業の戸別補償」、財源は「埋蔵金」「予算の組み替え」で対応できると約束…。国民の皆様は民主政権になれば地方にも明るい兆しが見えるという期待を持った方が、おいでになったと思いますが、その結果はどうだったのでしょうか。

さらに景気が悪いことにつながって行ったと思いますし、例えば、農業ひとつを取ってみても、米価が下がり、そして米価下落の対策もとらない、さらには

規模拡大のインセンティブもないという中で、突然に持ち出したTPP（環太平洋パートナーシップ協定）の話もあります。

どのように出口を見つけていって良いのか？というのが今の政権に対する国民の皆様のいつわらざる心境ではないかと思っています。

●迷走する菅政権に、大きな危機感を覚える！

また、9月7日に起きた、尖閣諸島での中国漁船が日本の海上保安庁の巡視船に衝突した事件と弱腰な政府の対応。11月23日に延坪島（ヨンピョンド）近海で起きた朝鮮人民軍と韓国軍による砲撃戦事件を見ても、現政権は安全保障、国益をどう考えているのか。はなはだ不安です。

沖縄の普天間移設問題では社民党の主張でつまきながらも、国会での多数派工作で、再び社民党に助け船を出して欲しいと言っている矛盾。菅政権に私は大きな危機感を覚えています。

（裏面に続く）



県議会議員選挙で気迫のこもった応援演説

菅内閣の国会運営では法案成立が 37.8%と戦後最低で、その内容も与野党対決型の重要法案は、すべて通常国会へ先送りとなってしまいました。

●何故、民主党政権は国会延長をしないのか！

これは野党が強硬だったということではありません。与党側が国会を延長しないということが最大の原因でした。民主党自体に小沢問題がある。また仙谷官房長官・馬淵国交大臣問責問題がある。この国会を閉じさえすれば、それらに対応しなくてすむ。何とかなるといふ与党の逃げの姿勢がそういった結果になっています。この国の将来を考えるのであれば、8月の召集だって出来たと思うし、足りないと思えば12月3日で終わらせるのではなくて、通年国会覚悟で通常国会まで続けていけば良い事だと思います。

しかし、民主党政権は国会延長しません。去年の国会も10月26日から12月4日、1月18日から6月16日、10月1日～12月3日で終了。予定通りの日程だといふけれども、予定した法案があがらなかったというなら通常は延長します。民主党は自分たちの問題を隠したい、これで終わりにしたいということで、全部、閉じてしまいました。それが法案の成立率になって



県議選当選のバラが続々と

いるというのが実態です。

政府で出した法案を通したいとなれば、通年でも何でも、正月返上でも国会を開けば良いというのが私の考えです。

●私は皆様の声を真摯に聞き、着実に活かす！

菅政権は行き詰まっています。党内でも路線対立で意見の集約が出来なくなっている。それを見れば早晩、解散という結論を与党もせざるをえない可能性もあります。そのときに自民党がどのようなカードが切れるのか、そして本当に戦い切れるのかどうかは問われています。自民党も反対、反対ではいけません。今年は自民党にとっても私にとっても勝負・正念場の年。党改革、そして自分たちは次の政権奪取を狙って努力をして参りましたけれども、それらが結実するかどうか。真価が問われる年であると思っています。しかしながら、それは敵失で浮かび上がることはありません。

政権交代から1年4か月。我々も反省するだけ、沈黙を守っている時期は過ぎました。政策を掲げ、正々堂々と政策論争で政権奪取に向かいます。

年頭にあたり、自民党が皆さんに本当に生まれ変わったなと思われるための、努力を行いながら、精力的に活動、有権者の皆様との対話も頻繁にできるような活動をしていきたいと思っています。

本年が皆様に実り多き年となることを祈念し、引き続きのご支援、ご指導をお願い申し上げます。

■どうぞご覧下さい。アクセスをお願いします。

① 梶山ひろしブログを始めました。

<http://ameblo.jp/kajiyama-hiroshi>

② Twitterを始めました。

<http://twitter.com/kajiyamahiroshi>

ホームページ <http://www.kajiyama-office.com/>

衆議院議員 **梶山ひろし**

連絡先

議員会館

〒100-8982 東京都千代田区永田町2-1-2 衆議院第二議員会館903号室(新しくなりました)
TEL.03(3508)7529 FAX.03(3508)7714

本部事務所/自民党茨城県第四選挙区支部

〒313-0013 茨城県常陸太田市山下町1189 TEL.0294(72)2772 FAX.0294(72)3383
TEL.0294(72)8100 自民党茨城県第四選挙区支部

動画メッセージ配信中。【梶山ひろしチャンネル】<http://www.youtube.com/kajiyamahiroshi>

